

テーマ：当院看護師が報告したインシデントとアクシデントに関する記述疫学的検討
情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センター医療安全室では、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

医療現場において、医療の安全は診療上の重要な課題であると同時に、その質を評価する指標となります。当院のインシデント・アクシデント報告システムである CLIP システムを用いて、インシデント・アクシデント発生の傾向を後向きに記述疫学的に検討することにしました。

研究期間

2022 年 10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日（1 年間）の予定

研究の対象となる方

2018 年 4 月から 21 年 3 月までに日本赤十字社和歌山医療センターに外来受診または入院したすべての方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、院内でインシデントまたはアクシデントが発生した方の患者背景因子を統計学的に調査します。

使用する情報および個人情報の保護

抽出したデータには、患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれています。患者さんの ID を使用して、院内に所有する様々な臨床データを突合しますが、突合後の解析データから、患者さんの ID と氏名を削除し、個人情報を再修復できないようにします。また研究用パソコンは、インターネットにつながりません。論文化から 10 年以上はデータを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されません。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

瀬田 剛史 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 副部長

共同研究者

呼吸器内科 部長 池上 達義、整形外科 部長 玉置 康之

血液内科 部長 直川 匡晴

看護部 副部長 山崎 裕子、同 魚崎 操、師長 矢野 優子

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20